



# はーもにー

TCS 運営委員会 2019

No.8 2020.01.16

## 年頭のごあいさつ

団長 鈴木美樹

皆さま、明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しく願い致します。皆さまにとって笑顔あふれる一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

2020年!! 今年は東京オリンピックがいよいよ始まりますね! 日本中が盛り上がり楽しい年となるといいです。昨年は災害も多く、事件や事故も絶えませんから。そして、その年にまたオリンピック小ホールで定演が出来ること、一度歌ってみたいと思っていたモーツァルトのレクイエムに挑戦し、皆さまと共に毎週歌えることを嬉しく思っております。定演がとても楽しみです♪♪

ソリストの方も決まり5月2日に向けて頑張るのみですね、ソリストの方々をご紹介させていただきます。

★ソプラノ 見角 悠代(はるよ)さん、昨年お世話になった方です。

★アルト 成田 伊美(よしみ)さん、見角さんと同じ門下、二期会でバリバリ活躍中だそうです。昨年の池端さんはフランス留学中で4、5月の帰国は難しいそうで残念…

★テノール 田口 昌範(まさのり)さん、名取先生の後輩でご活躍中のナイスガイ!と聞いております、楽しみです(笑)

★バス 金子 慧一(けいいち)さん、男性お二人とも見角さんとは在学中に合唱で一緒し、ご主人様の関係でも何かとお力添え頂いております、とご紹介頂きました。

皆さま東京音大卒で名取先生にご協力頂きました、有難うございました!

皆さまと心ひとつに良きハーモニーを奏で、素晴らしい演奏会になりますように～♪ 定演まで4ヶ月を切りました、頑張りましょう、役員の方々とも準備など頑張らせて頂きますのでどうぞ宜しくお願い致します。

## 何で、私が合唱に!?

岸部 俊幸

TCSに10月から参加して早三か月過ぎました。そもそも、合唱というものを中高のクラス対抗合唱大会しか経験も無い小生が、三か月も練習に参加できたのは、富澤先生並びにTCS団員の皆様方の前向きかつ優しく暖かい雰囲気の中で、何となく自分もやっていけるのではないかという気になったことが一番だと思えます。毎週木曜日、先生の御指導、皆さんのハーモニーを楽しみに、片隅で御迷惑にならないよう出席しますので、今後共宜しく願い致します。

申し訳ありません。合唱がらみとなるとこれ以上コメントすることは全く無く、これで終わってしまいます。今後、お世話になりますので、少しでも自分のことを理解してもらうためにも、若干自己紹介させていただきます。

外見とは想像つかないところがあるかもしれませんが、横浜生まれで茅ヶ崎育ち、世間でいういわゆる湘南ボーイと言われた奴です。高校から大学入学当初まではラグビー部にいましたが、急遽スキューバダイビングに転進して現在に至っています。今でも、海外旅行時ないし年に1-2回潜っています。2019年春迄の直近四年間は中国上海に駐在し、超スピードで変化発展する中国を肌で実感しました、中国国内旅行にも色々

行きました、北は哈爾濱・北京、西は敦煌・拉薩、南は桂林・雲南、等々。

ついでに、過去最近質問を受けた代表的なものを皆様にも御紹介します。

①スキューバダイビングのタンクの中身は??  
何メートル迄潜れますか??

空気です。酸素ではありません。基本は、タンクの容量×深さ(気圧)と個々人の吸う量で水中滞在時間が決まります。海中の景色は、太陽光が届く=透明度、魚影、珊瑚等の地形に依り決まり、深さを競う意味合いはあまりありません。個人的には昔60M近辺まで潜ったことはありますが、一般的には10~20m程度でしょう。

②中国と日本の大きな違いは??

ここ10年20年で急速に近代化変化しているのが中国で、50年程前から道も含めてあまり変わらないのが日本かなと思います。兵馬俑で有名な西安も私が初めて行った5年前は地下鉄すら有りませんでした。今では3路線出ています。上海の地下鉄も1990年代後半迄有りませんでした。

③ラグビー日本代表には何故外国人がたくさんいるの??

まずは、ラグビーは、所謂国籍主義ではなく協会主義が大前提です。面白い例で言えば、ラグビーのアイルランド代表は、イギリス国の北アイルランドとアイルランド共和国の双方が属しています。出生地が当該国、両親/祖父母のうち一人が当該国出身、当該国で三年以上(五年以上)継続居住、他国での代表経験者は不可、というルールです。

## 合唱団「いきのちから」 の演奏を聴いて

伊藤秀一

第13回合唱団いきのちからクリスマスコンサートに行って来ました。認定NPO法人がんサポートコミュニティが運営するがん経験者の合唱団で、2019年12月9日に開催されました。TCSからは2名の方が出演され、団員からは多数が応援に観客席に駆けつけました。

演目はミュージカル「CATS」(Memory)や映画「オズの魔法使い」(Over the rainbow)の楽曲、そしてこの季節定番のクリスマスキャロルメドレーなど。

観客は、ほとんどが患者家族、応援する友人、同病の仲間などだということでした。始まってみると、演奏者と観客が一体となって音楽が紡がれる、他に類を見ない演奏会でした。

メンバーが自身のがん経験をもとに作詞・作曲したオリジナル曲「風に乗って」が披露されました。これは、有志メンバーにより2012年より始まった「歌詞プロジェクト」の一環で、「がん体験者自らの思いを自分達で歌詞にして歌おう」というコンセプトのもとに作られた1曲なのだとか。演奏者と多くの観客が何らかのかかわりを持ってがんを乗り越えようとしている姿に大きな感動がありました。この人たちの未来が拓けますように、と願わずにいられません。

出演のIさんから「今日を一生懸命生きる私たちです。この日を迎えるのを目標にしていた仲間もいます。笑顔で歌えて、とても嬉しいです」との言葉がありました。最後はオリジナル曲「今こうして」

今まで出会った人たちの  
優しさが私を包むから  
悲しくて涙こぼれても  
忘れてはいけない事がある  
今こうして歌っていること  
今こうして笑っていること  
今こうしてこの場所で  
今こうして生きていること

終演後TCSの仲間とこの歌を口ずさみながら、私達も観客に感動を与えられる演奏ができるように、と心に留めつつ帰りました。

日本人の2人に1人が一生の内にかんに罹り、日本人の3人に1人はがんで亡くなると言われています。他人事ではありません。前向きに生きる姿を見て私の方が元気をもらいました。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。今年も歌唱力の一層の向上を目指し定演に臨みましょう。(い)  
連絡先：鈴木美樹 miki.561739@gmail.com